

令和4年度 第1回 県居小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年6月6日（月） 10時20分から11時30分まで
- 2 開催場所 県居小学校 会議室
- 3 出席委員 本多正明、早川大介、中村恵美子、池田誠子
- 4 欠席委員 山田勝夫、中西洋一郎
- 5 学 校 小林延和（校長）、上村仁美（教頭）、大川 博（教務）、
田中由美子（CS担当教員）、坂口千佳（CSディレクター）
- 6 教育総務課 鈴木陽子（教育総務課）

7 協議事項

- （1）会長の選出及び副会長の指名について
- （2）議長の選出について
- （3）県居小学校運営基本方針について
- （4）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
- （5）学校運営協議会の自己評価項目の確認

- 8 会議録作成者 CSディレクター 坂口千佳

9 会議記録

司会の教頭から、委員総数6人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

次に教育総務課の鈴木陽子氏よりご説明いただき、浜松市学校運営協議会規則の確認を行った。

第3条1：学校運営協議会を置いた学校のことをコミュニティ・スクール（以下、「CS」と記載）と呼ぶ。CSでは地域・保護者の皆様から様々な学校運営に対するご意見をいただき、それを学校運営に採用し、教育活動を充実させていくことが目的である。浜松市では本年度、144校中、130校。運営協議会は125協議会が設置され、約9割の学校がCSとなった。

第8条1：年度末に対象学校の評価を行う。

校長と職員が目標を掲げ、その目標を達成するために教育課程という計画を編成している。その計画を実行しながら、子供たちの育てたい力を育もうと努める。そして年度末には、それを確実に出来たかどうかを評価し、分析考察して、次年度の改善策を立てている。そこに学校運営協議会の委員にも当事者として参画していただき、最終的に先生方が立てた改善案に、それをより良くする、または後押しするなどして、学校経営を強化する仕組みが出来てくるというものである。

第8条2：年度末に委員自らの評価も行う。

第15条：本会議は原則公開で行われ、誰でも傍聴でき、会議録（要点記録概要）も学校ホームページなどで公開される。

(1) 会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、本多委員から早川委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された早川委員から、中西委員を副会長に指名する旨の報告があった。

(2) 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、早川委員から本多委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 県居小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 地域の役割が大きいと思う。子供と子育てを地域で見守る、地域で支えるという体制を築いていくことが必要だと感じる。地域の大人と子供たちが関わる場面がもっと増えるといいと思う。(中村委員)
- ・ 子供への注意方法に気を付けてほしい。その子が理解できる言葉を選び、きちんと注意をする理由を言ってほしい。(早川委員)
- ・ 他学年との交流の中から学ぶ事が多いと感じる。子供たちどうして影響を与えながら成長して行ってほしい。また、地域の方がボランティアをすることによって、子供たちは地域の大人を知る機会になると共に、地域の方にも学校を身近に感じ、学校を知る良い機会になると思う。(池田委員)
- ・ 今まで地域のイベントで、地域の大人と子供との触れ合いがあったが、コロナでその機会が減った。それを少しずつ復活させて交流の場を作っていきたい。
また、今は皆マスクをつけている為、友達や先生の顔を知らない子供が多い。それが原因でいずれ何らかの問題が出るのではないかと心配している。その点を先生方に配慮していただきたい。(本多委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(5) 学校運営協議会の自己評価項目の確認

議長の指示により、教頭から、学校運営協議会の自己評価についての説明を行った。

その他報告事項等

教頭から、次回会議は、令和4年10月13日(木)午前10時20分から会議室で開催する旨の報告があった。協議内容については、「特色ある学校づくり」「支援策の具体化」を予定とする。